

令和6年5月31日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



# 東希小だより 6月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

## スポーツフェスティバルの魅力

校長 井島 恵子

25日に行われた「東希スポーツフェスティバル2024」には多くの皆様にご参観いただき、また終了後の片付けでは70名を超える多くの保護者の皆様にご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のご協力もあり、気温が上昇する時間を避けて予定時刻通りに下校することができました。どうもありがとうございました。



子どもにとって運動会は、いつの時代も楽しみな行事の一つです。普段は体を動かすことが少ない子ども、スポフェスに向けた取組が始まると張り切って活動し、楽しんでいる様子が見られました。そんなスポフェスの魅力とは、何なのでしょう。机に向かう学習や、苦手な勉強より楽しいから…。そういった一面も少なからずあるでしょう。でもそれだけでは、スポフェスに向けて、「張り切って」活動し、「楽しむ」子どもたちの姿とはなかなか結び付かないように思います。

スポフェスのねらいの一つに、「(略)仲間と協力し励まし合う中で、友達との仲を深め思いやりの心を培うようにする」というものがあります。練習を通して子どもたちが、自分の課題に目を向けて成長しようとする姿、友達と心を合わせて頑張ろうとする姿、下学年の手本になって導こうとする姿にこそ、この行事の魅力が表されているのだと考えます。練習でうまくいかなかったときに、自分やチームができることを考えて試してみたり、成功した時にはみんなで思いっきり喜び合ったりする経験は、子どもたちを大きく成長させ、集団としての高まりを生みます。また、活動を通して児童一人ひとりも、最後までやり抜く力を高めていきます。社会情動的コンピテンシーとして、決して数値に表すことはできない、とても価値のあるものを、子どもたちは経験から獲得しています。

今年度から本校のスポフェスは、組の分け方や種目を変更しました。学級が二つに分かれることを心配しましたが、競い合う結果だけにとらわれることなく、その過程に価値を見出し、認め合い称え合う人間関係作りに意識を向けるよう子どもたちを支援して参りました。演技の練習では異学年交流を意識し、上学年が下学年に教える姿が見られたり、応援練習では応援団が作成した動画を自分の色に関係なく教室で視聴し練習したりしていました。団体競技では走ることに苦手意識をもっている子ども、生き生きと仲間と共に活躍している姿も見られました。全ての子どもたちがスポフェスという行事を通し、運動を楽しみ、仲間と協力して団結するという経験を積むことができたのではないのでしょうか。

秋には本校の2大行事である「歌のつどい」も予定されています。ここでも子どもたちが主体的に協力して創り上げる過程を大切にできるよう支援してまいります。これからもどうぞご理解ご協力をお願いいたします。